



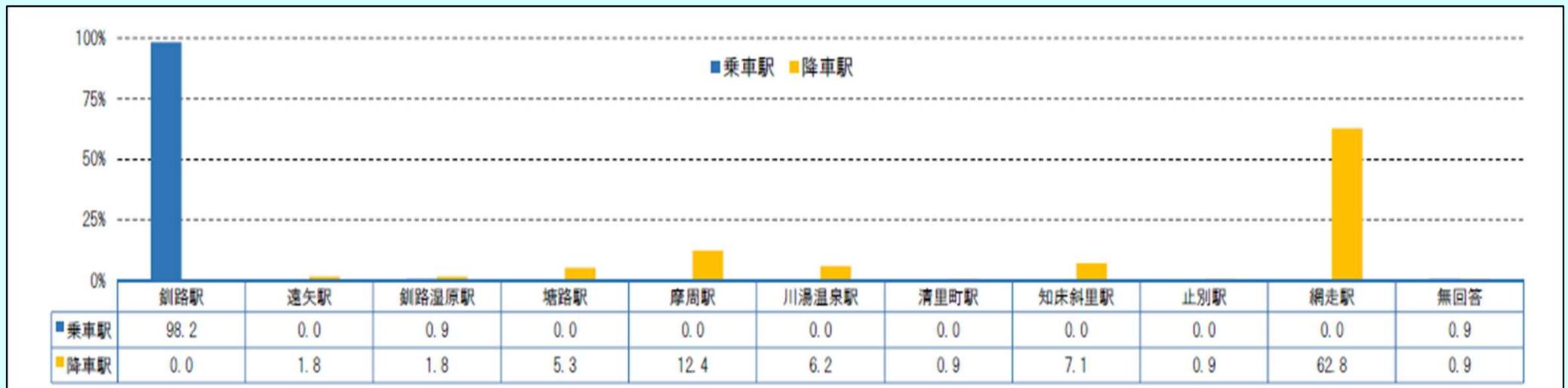
# J R 釧網本線維持活性化実行委員会地域公共交通再構築調査事業の取組状況

## ●事業の結果概要

### 1. 繁忙期の普通列車増結・指定席導入実証実験の実施

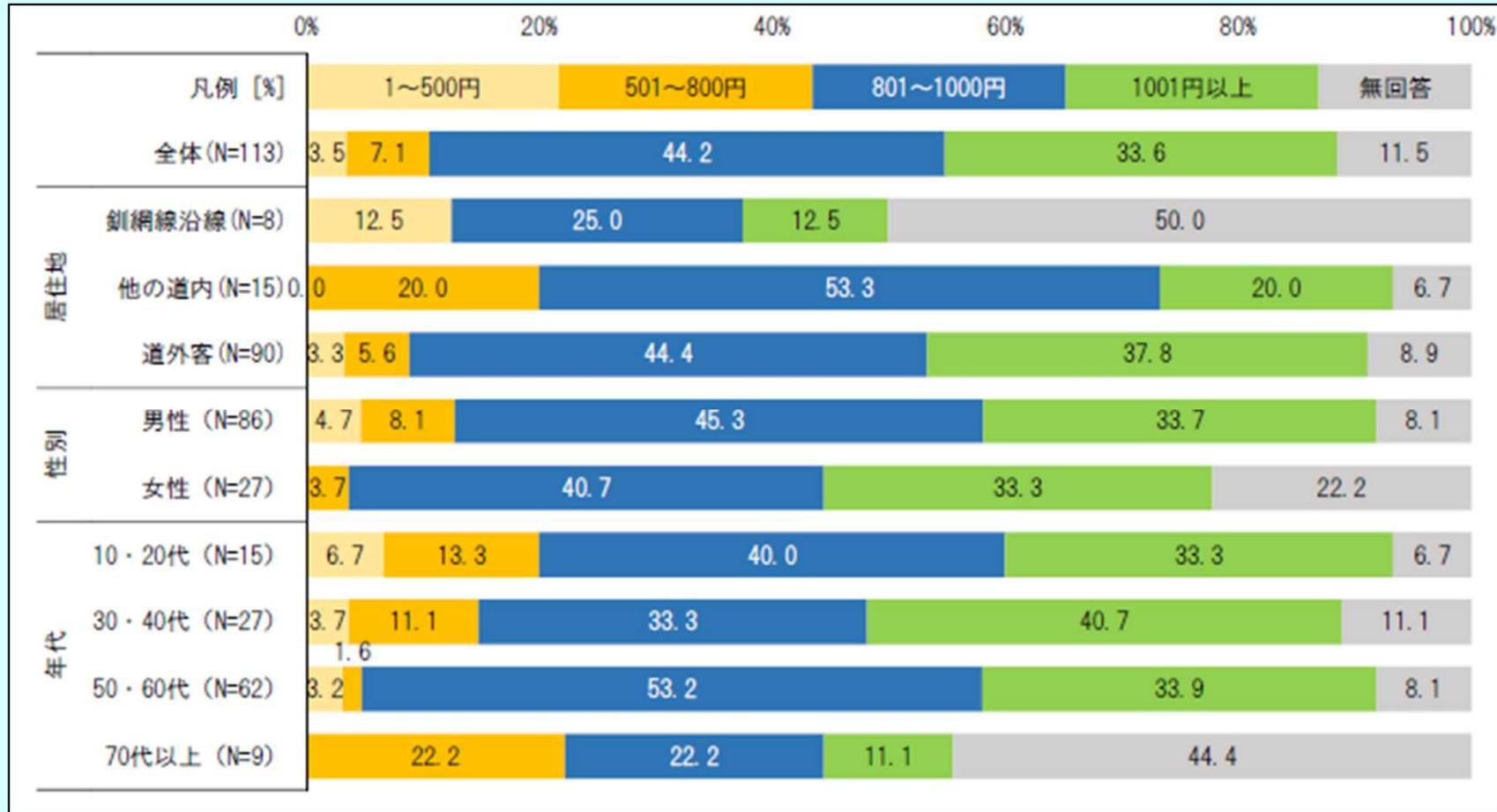
・繁忙期の普通列車に列車を増結するとともに指定席を設定、アンケート調査を実施する

- 運行日 : 【増結】 7月13日～8月18日及び8月24日～9月29日までの土・休日  
4728D(釧路駅8時52分発)及び4727D(網走駅15時16分発) 2両編成運行  
【指定席】 8月24日～9月29日までの土・休日  
4728D(釧路駅8時52分) 指定席18席導入(設定区間:釧路駅～川湯温泉駅)
- 目標 : 指定席実施4728D 利用人員7人増/日、指定席利用15人/日  
※指定席実施4728D 利用人員7人増/日については、  
昨年度の同列車と比較して利用人員7人増/日を目標とする
- 実績 : 指定席実施4728D 利用人員10人増/日、指定席利用12人/日
- 調査結果 : 調査回答数113組(153人)



# J R 釧網本線維持活性化実行委員会地域公共交通再構築調査事業の取組状況

## ● 事業の結果概要



- ・ 利用者の8割近くが道外客で、9割が旅行目的で利用している。
- ・ 利用者全体の4割が初めての利用で、当該事業が新規利用者の獲得に繋がったといえる。
- ・ 利用者の6割は終点の網走駅（63%）まで乗車している。
- ・ 指定席設定区間終点である川湯温泉駅以遠の駅での降車割合が72%となった。
- ・ 指定席料金（840円）に対する支払限度額平均が1,200円となった。
- ・ 利用者の9割近くが指定席の今後の利用意向を示した。

# J R 釧網本線維持活性化実行委員会地域公共交通再構築調査事業の取組状況

## ●事業の今後の改善点(特記事項含む)

- ・設定区間を越えて利用する人が多く、全区間において指定席を設定して欲しいとの声が寄せられた。
- ・本事業は区間限定での指定席の設定であったことから、次年度には眺望の良い席についての全区間指定席や通年での導入を検討を行う。
- ・指定席利用者数が目標に届かなかった要因としては、プロモーションの不足が考えられる。今後のプロモーションの改善によっては更なる利用が見込める可能性がある。

## ●事業実施の適切性

計画通り事業は適切に実施された。

## ●地方運輸局及び地方航空局における二次評価結果

- ・事業は計画どおりに実施されている。
- ・指定席利用人員数の目標値は達成できなかったものの、指定席実施列車の昨年度の同列車と比較した利用人員数の目標値は達成しており、観光線区としての特性に留意した利用促進等の取組の更なる推進に期待する。
- ・今後、持続可能性と利便性の高い地域公共交通への再構築に向けて取り組んでいただきたい。